

北海道ぎょれん広報



なみまるくん



1
2016
No.327

[うみ・なかま コミュニケーション]

北海道
ぎょれん



特集

海・ひと・夢 スペシャル 新春 会長インタビュー
シンボルマークに^{おも}想いを込めて!

海ひと夢スペシャル

新春会長インタビュー

未来に継ぐ浜づくりを



川崎 一好 会長

明けましておめでとうございます。
新年にあたり、川崎会長に
昨年を振り返り、新年に向けた
お話を伺いました。

[うみ・なかま コミュニケーション]

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
January 2016 No.327

1

01 海・ひと・夢 スペシャル
新春 会長インタビュー

04 新春企画 ギョレン常勤役員
新春メッセージ

06 特集1
シンボルマークに想いを込めて!

08 特集2
地元の特産品を全国へ 私のまちのふるさと納税 返礼品

10 浜の家族物語
羅臼漁協/菅原 史大 さん ご家族

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 なみまるインフォメーション

14 はばたけ 地域ブランド水産物

15 指導事業
一問一答 環境部編②

16 大漁祈願!
浜のほっとニュース

17 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱

表紙の写真
羅臼漁協/菅原 史大さんご家族です。



次の出漁を待つ漁船(羅臼港)

TPPは輸入・輸出両面での対応が必要。輸出は攻めの意識を

昨年、印象に残っているのは、やはりTPPの大筋合意です。輸入品の関税引き下げによる国産水産物への影響は2、100億円以上とも言われていますが、それら関税引き下げへの対応がひとつ。一方、国や道は輸出の促進を打ち出していますが、日本の港や空港には24時間の検査体制が整っていないなど、制度的な問題があります。制度上の問題は我々では解決できませんので、国や道にすぐにも改善してもらわなければなりません。このままでは、日本は海外の国々に遅れを取ると感じています。

先日視察にいった香港では、驚くほど世界中から活の魚・えび・貝類などが集まっていました。道産水産物も鮮度を保持しながら運ぶ方法の研究を重ねれば、ほたてや秋鮭以外にも、もっと海外の皆さんに道産水産物を食べてもらえる可能性があると感じました。

その香港へは日本から飛行機で約5時間。シンガポールへは6時間、アメリカも10時間あれば着きます。国内と海外の移動時間にさほど大きな差があるわけでもなく、これからは海外への

出荷も国内とあまり変わらないといった社会になってくるだろうと考えています。

ただ、海外へ輸出する場合は、相手国によって規制や衛生管理のルールが違いますから、ぎよれんはもちろん、生産者もしっかり勉強して、高い意識を持つことが必要です。漁業者自らが、「これをアジアの人に食べてもらおう」、「アメリカやヨーロッパの人に食べてもらうにはどうしたらよいか」といった想像力や意気込みを持つて生産する。生産する楽しみに、販売する楽しみを加えた一連の仕事として皆さんで取り組んでいけば、飛躍的に流通が変わっていくのではないかと思います。TPPを契機に意気込みや攻めの意識をもつこと。それが、国の新しいルール作りを手助けすることにもつながると考えています。

漁業者自らが前浜の環境を守り、各地域に適した根付けの魚を増やす

今まで獲れていた助宗やほっけが本当に獲れなくなってきました。昔から、我々は「資源を大事に」、「資源を獲りすぎないように」と言ってきました

水産物は世界中でチャンスがあります

国内の魚離れが進んでいると言われる。最近では各地域で、給食に魚を食べてもらおう努力などを行っています。まだまだ足りないと感じています。また、子育て中のお母さん達は子供に対する食の安全をととても大切にしていますから、魚の骨に対して非常に心配されています。魚は肉とは違い、形のまま食べる文化がありますから、我々は最大の努力をして、魚の骨に対するお母さんや子ども達の抵抗感を小さくしていかなければなりません。

同時に、生産者側が消費者に合った魚を消費地に送り出していくことも必要です。漁業者は、より消費者の目線に立って、消費者と接するべきです。消費者に迎合するようなものを作れと言わなければならない。今のものは何十年、何百年とかかって作ってきたものですから、そのおいしさをもっと知ってもらおう努力をするのです。様々な商品がある中から消費者に選んでもらうために、自分たちの作ったものを消費している人や場所を見て勉強してくることが、これからの若い漁師に必要です。私自身、様々な所で視察をし

たが、この10年間を振り返ってみると、魚は不足しているのですから、やはり獲りすぎたのでしょうか。獲れるだけ獲るような漁業は終わったという認識をしっかりと持つことです。

そして、もうひとつは、今は誰が見ても環境が大きく変わってきていると感じます。昨年は残念ながら、台風・低気圧が道内に大きな被害をもたらしました。環境に関する国際会議も行われていますが、我々漁業者も自分達が身近に出来ることは何かを考えて、海、地球を大事にし、資源を絶やさないようにならなければなりません。

自然のなかで資源を増やすのは決してたやすいことではありませんが、これから必要なのは、各地域に合った根付けの魚や貝類を増やすことです。国や道に頼るのではなく、地域や海区にあった無給餌型の養殖を行うこと。365日生き物と携わり、その恩恵を受けていくという姿勢で増養殖に取り組んでいくことが一番大切だと思います。

担い手対策に 浜プランを活用

昨年、道内では87件の浜プランが申請・承認されました。せっかく国が予

ますが、百聞は一見に如かず。消費者の声を聞くことで多くのことを学びました。世界にはいろいろな消費者がいます。そして、今の若い漁業者は物を作る楽しさを知り、よく研究しています。水産物はこれから世界中でチャンスがあると思いますね。

議論を積み重ね、納得のいく方法で問題解決を

新しい年は、事故のない大漁な年になってもいい。自然と共に生活をさせてもらっているものとしては、それが一番。穏やかな事故のない年であることを願っています。また、TPPや、公海上のまぐろ漁やさんま漁では世界的なルールが決まりつつあります。我々漁業者も議論を重ねて、自分達が納得できる形で資源を大切に使いながら、将来の孫子のために残し、再生させていくことが大事なのだろうと思います。

今年もしっかりお互いに漁業者同士スクラムを組み、情報を共有して、少しでも自分たちの生活が安定するように努力をしましょう。



算を組んで、各地域が行いたい事業の後押しをしてくれるのですから、市町村や組合はもっと積極的に動いていくべきです。さらに、今後は複数の浜が連携して取り組む広域浜プランが本格化します。この広域浜プランを活用して、担い手に対する漁船リース事業が展開される予定です。私は、この担い手対策には後継者対策が含まれると考え、非常に重要視しています。これらの制度も活用しながら、漁家子弟が安心して親の跡を継げるような環境づくりを行っていきたいと考えています。

※広域浜プラン
複数の浜の機能再編などでネットワーク化を図り、地域全体の活性化を目指すもの。



ぎょれん常勤役員の 新春メッセージ

広報付録

昨年を振り返り、漢字一字で表現していただきました！



常務
崎出 弘和

昨年の本道漁業は、想像を超えた漁業環境と流通環境の変化を痛切に感じた年でした。

道産水産物の“輸出”は世界の水産物需要増大の中でさらに伸長し続けているものの、我が国の魚介類消費は減り続け、市場は縮小の一途にあります。

しかし、世界第三位の経済力と1億2千万人の大きな消費市場を持ち、今でも世界有数の魚介類消費国である我が国市場の優位性を見逃している気がします。今一度目を向け、バランスの取れた流通構築を踏まえた道産水産物の販売戦略が必要だと思います。



想像を“超”えた漁業環境と流通環境の変化。そして経験を超えた価格の高騰。

昨年を振り返る漢字



常務
本田 勝実

平成27年は台風や低気圧の影響により、昆布生産は当初の見込に対し2千トンも減少する大減産となりました。あらためて生産回復に向けて取組むとともに、消費の落込みが深刻であり対応策を模索していきます。

漁業施設資材も大きな被害をこうむりました。系統購買を通じさらなる安価で良品質の資材を供給していきます。

燃油については平成26年の末から国内価格も下がり、27年は比較的低水準で推移しました。今後も安定供給体制を維持継続していきます。



爆弾低気圧により大きな被害を受けました。爆買も嫌いな言葉です。爆弾テロも含め無くなれば良い響きです。

昨年を振り返る漢字



常務
本間 靖敏

昨年は、ホタテ、サンマ、イカ、ホッケなど北海道を代表する魚種の水揚げ数量が減少し、一方で単価の上昇により水揚げ金額でカバーされたものの厳しい結果となりました。また、春の北洋鮭鱒流し網の禁止や度重なる爆弾低気圧による帆立貝、定置網漁業の被害など、漁業経営を大きく揺るがす事態となりました。更には、TPP大筋合意により、関税撤廃と牛肉消費拡大による水産物への影響は計り知れないものがあり、国に対して後継者対策と漁船建造リース事業を要望しました。今年は、将来の構造改革に向けた強い北海道漁業確立に向けて、浜の活力再生プランの実践と漁船建造・機器導入事業による設備投資支援、資源回復に向けた増養殖・資源管理の強化と更なる協同組合運動の推進に取り組んでまいります。



自然の災害には、人間の力は無力。しかし、「災い(禍)を転じて福となす」故事の如く「ピンチをチャンスに」今年も前向きに頑張ろう！

昨年を振り返る漢字



常任監事
水野 秀郎

おめでとうございます。政治・経済は云うに及ばず、自然環境、特に天候も予測が難しく尖鋭化し、混沌とした時代となっていますが、今年は「丙申（ひのえさる）」の年。夢が着実に進む年と言われています。豊かな海を孫子の時代に引き継ぐべく、漁協系統の理念を再認識し、夢に向かって少しでも前進できる年となるよう願い、その思いを大切に浜の皆様のお力添えのもと一生懸命に努力したいと思っています。本年もどうか宜しくお願い致します。



台風以上の低気圧など天候も尖って、ISのテロやそれに対応する各国の反応も尖ったナショナリズムの発言が目立ってきた年と感じています。

昨年を振り返る漢字



副会長
西 英司

羊のような穏やかな年であることを祈っていましたが、振り返ると多事多難な年でした。魚価の上昇で水揚げの影響は何とかカバーできましたが、原料事情の悪化により加工業者の皆さんは大苦戦を余儀なくされました。北海道の地域創生の基本は、基幹産業である農林水産業の強化であることは、言うまでもありません。今年も浜が一枚岩になって資源管理と資源増大対策にしっかり取り組み、水産王国北海道として国内そして海外の皆さんに安全・安心な道産水産物の安定供給という大きな使命を果たしていきましょう。



爆弾低気圧や台風等の荒波に加えロシア海域鮭鱒漁業の全面禁止・TPP貿易自由化等の荒波も押し寄せた年でした。今年は「良い波」に乗っていききたいと思います。

昨年を振り返る漢字



専務
佐藤 忠則

明けましておめでとうございます。昨年は、ほとんどの魚種において前年を下回る水揚げ結果（数量）となったようです。一昨年暮れからの相次ぐ大型低気圧の被害によるホタテの水揚げ減少、秋には数度にわたる全道規模での大時化の影響で定置資材をはじめとする様々な施設に被害がおよび、浜にとっても大変な一年でした。

昨今の気象現象から想定すると、先々これらの自然の影響も考慮しながら漁業の形態を変えていくとか、更には備荒貯金の充実等、蓄えが必要かと思います。本年は大きな時化もなく、浜が大漁である事を願うばかりです。

本年も宜しくお願い致します。



浜も海の中も嵐に翻弄された一年でした。漁業が自然に生かされている以上、自然と上手に付き合うことが肝要かと！

昨年を振り返る漢字



常務
重岡 徳次

新年あけましておめでとうございます。
・今年を振り返って
鮭鱒流し網漁の禁漁、まぐろの漁業規制、さんま資源の減少に加え、再三来襲する台風の甚大なる被害や、高水温の影響により道産水産物の大幅な水揚げ減少が表面化しました。水産物食糧基地としての危機と、伝統的食文化の消滅を強く感じた一年でした。

・来年の抱負として

逆境に対応できる組織こそ、浜の皆さんと一丸となって事業推進に取り組んできた「北海道ぎょれん」であると強く認識しております。車の両輪である加工業者との連携を更に強化し、生産体制の整備を図りながら世界の食糧基地として邁進します。



世界各国におけるテロの発生。イスラム聖都における文化遺産の破壊。CO2の排出に起因するであろう世界的異常気象の連鎖。安保改正に伴う、戦争への危機感。これ全て狂気の沙汰！

昨年を振り返る漢字



北海道漁協女性部連絡協議会

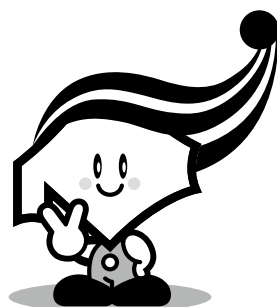
協同組合を表す「虹」と、波をイメージした「F」の文字。
「F」は女性（Female）・漁業（Fishery）・家族（Family）・友（Friend）の意味をもっています。
2003年（平成15年）6月に制定された、全国共通のマークです。



北海道漁協職員協議会

北海道漁協職員協議会シンボルマークは、1968年（昭和43年）創立15周年を記念して、図案を会員から募集しました。
シンボルマークは、菱形の白は北海道を表し、外側の黒は海岸線を表し漁村の連帯感を示しています。
中央に漁協の頭文字のGを図案化し、円は団結を、矢印は向上発展を意味しています。

キャラクター



ぎょれん・なみまるくん

顔で北海道の地形を表現し、髪形を北海道の穏やかな海の波をモチーフとして、北海道の漁業をイメージしています。北海道の水産物とぎょれんのイメージアップを図り、消費者に親しみをもってもらえるものという狙いから、デザインを公募。遠くはフランスからなど、691点の作品から選ばれました。名付け親はぎょれん職員の子弟で、当時小学2年生の男の子。波のように見える頭髪と船名につく丸から思い浮かんだ名前です。1996年（平成8年）広報ぎょれん9月号で紹介されました。



しんれん・マリンちゃん

1989年（平成元年）、全道漁協信用部の呼称を「マリンバンク」に変更したことに伴い誕生しました。ギリシャ神話に登場するポセイドンの子供という設定で、手にモリを持っており、ほたてのポシェットがワンポイント。「マリンちゃんの唄」などテーマソングも持っています。

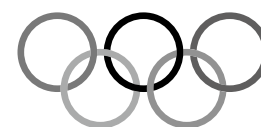


共済・まありん

JF共済のマスコット。海の森で生まれました。海の子（妖精）なので男の子でも女の子でもありません。趣味は「いたずら」で、特技は「素もぐり」や「波乗り」。夢は7つの海をまたにかけ活躍することです。1996年（平成8年）に制定されました。

「シンボルマークに^{おも}想いを込めて！」

ぎょれんと連帯を強める組織や団体のシンボルマーク・キャラクターを紹介します。



昨年話題をさらった2020東京オリンピックのシンボルマーク。世界的には国旗や紋章、日本では武家の家紋や企業のロゴマークなど、マークは身近にあふれています。また、彦根市のひこにゃんや熊本県のくまモンなど地域のゆるキャラも大ブーム。このコーナーでは、ぎょれんや関連団体のマークやキャラクターに込められた想いや誕生秘話を紹介しましょう。



ぎょれんマーク



ぎょれんのマークは、あのマークで有名な広告代理店が制作

ぎょれんのシンボルマークは、当初3尾の魚の頭を中央に集めたものでしたが、魚が小さいためにはっきりせず「扇風機マーク」とも言われていました。そこで再建を達成した1965年（昭和40年）、共販の充実によりぎょれんマークの一層の浸透をはかるため、図柄を改正することにし森永キャラメルのエンゼルマークを制作した「電通」に依頼して現在のマークが出来上がりました。

※電通：明治34年創業で日本最大の広告代理店

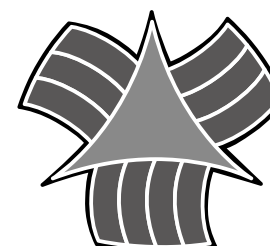
購販推進旗



購販推進活動を啓発するため2007年（平成19年）に制定されました

センターに大小の魚で北海道の輪郭を配置し、広がる「海」と「魚」を表現しています。私たちの住む北海道は海の宝で囲まれていることを表しています。また購販推進の文字を中央に配置し、「海」と「魚」とともにある購販推進を強調しています。

北海道漁協青年部連絡協議会



道漁青連シンボルマークは、創立40周年を記念して、図案を会員から募集し、2003年（平成15年）の全道大会で制定されました。

中央の三角形は「北海道の緑の大地」を意味し、三方に広がる帯は取り巻く海と全道10地区の漁青連をあらわし、そして団結し、ひとつのスクリューとなって将来（みらい）に向け邁進していこうという意味が込められています。

私のまちのふるさと納税 返礼品

宗谷総合振興局管内

- 猿払村: ほたて製品
- 枝幸町: ほたて製品、毛がに
- 礼文町: 昆布製品、うに、加工品

留萌振興局管内

- 増毛町: ほたて
- 苫前町: ほたて、甘えび、加工品
- 羽幌町: 甘えび、ぼたんえび、加工品
- 遠別町: ほたて、ひらめ、ほっき、たこ

後志総合振興局管内

- 寿都町: あわび、ほたて
- 古平町: えび、加工品
- 余市町: いくら、加工品

檜山振興局管内

- 奥尻町: あわび

渡島総合振興局管内

- 知内町: ほたて、かき、ひらめ、かれい、加工品

胆振総合振興局管内

- 室蘭市: ほたて
- 豊浦町: ほたて、あわび、かれい
- 厚真町: ほっき
- むかわ町: ほっき

オホーツク総合振興局管内

- 雄武町: 鮭製品、毛がに

根室振興局管内

- 根室市: 昆布製品、かき、たらばがに
- 標津町: 時鮭、鮭製品、加工品など

釧路総合振興局管内

- 浜中町: 昆布製品、さんま、しまえび、毛がになど

日高振興局管内

- 新冠町: 鮭製品、鮭児、いくら、昆布製品、ほっき
- 浦河町: 鮭製品、昆布製品、毛がに、きんぎ、たらこほか
- えりも町: 昆布製品、毛がに、つぶ
- 新ひだか町: 鮭製品、いくら、たらこ、加工品

青年部の取り組みから生まれたものが返礼品に! 増毛町「漁師の宝箱セット」

留萌地区漁業協同組合青年部連絡協議会が豊漁と海上安全の願いを込め企画した日本酒「漁師の力水」。留萌の酒蔵「国稀」と協力して、荒波にもまれる船に原酒を積み込んで熟成させたお酒と、地元のほたてをセットにしたのが「漁師の宝箱セット」です。

水産物と一緒に販売し、どちらもおいしく頂いて欲しい、との思いから、地元向けにセット販売していましたが、役場からの打診で今年からふるさと納税の返礼品になりました。250件以上の申し込みは、その多くが道外から。青年部の魚食普及の願いはたくさんの人に届き始めています。



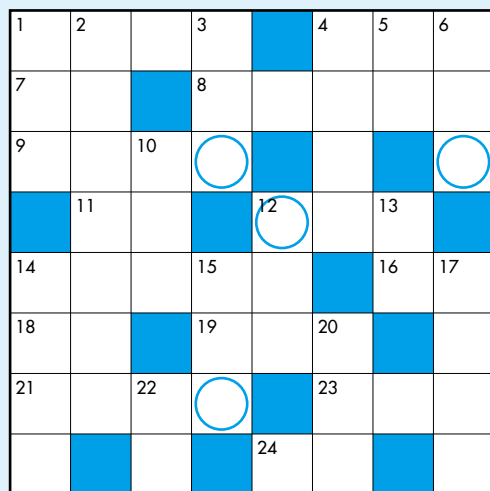
好評の増毛漁協青年部の獲ったほたてと四合瓶の「漁師の力水」セット

全国的に水産物ではかにかが人気だというふるさと納税の返礼品。今回掲載している、漁協が提供しているもの以外にも、宿泊券や体験型のイベントなど各市町村では様々なものを用意しています。住んでいる市町村の特産品はもちろん、ゆかりのある場所や行ってみたい場所などの返礼品を見るだけでも楽しいですよ。旅行気分で全国各地の返礼品を調べてみてはいかがでしょうか。

※期間限定・数量限定の商品も多くあります。
お申込みの際はご確認ください。



クロスワードパズル



○印に当たる言葉を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。



12月号の解答と当選者

ジョヤノカネ

(島牧村) 高島 里子さん
(厚真町) 三上 澄子さん
(えりも町) 齊藤 円さん
(興部町) 坂本 翔さん
(札幌市) 鈴木めぐみさん

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。寒くて外に出づらくなるこの季節。暖かな部屋でおいしいご飯をたっぷり食べて、太ってしまった人も多いのでは? 近年、健康維持に人気のマラソンやランニングは、道外では秋から冬がハイシーズン。テレビなどでも放送回数が多くなります。特にお正月には、タスキをつなぐ競技が毎日のように放送されますね。

タテのカギ

- ① スポーツの練習の成果をみせる場
- ② 重箱に入った正月の食物
- ③ 外気の温度
- ④ 昔ながらの炊いたご飯を入れる木製の入れ物
- ⑤ 美白派の人は焼かない
- ⑥ 呼ばれたら元気に返事をしよう
- ⑩ 遅刻の原因の一つ
- ⑫ 銀行では貸してくれる貴重品の収納庫
- ⑬ 上流から下流に流れる
- ⑭ サシが細かく入っている牛肉
- ⑮ 山頂で見ればご来光
- ⑰ 子孫繁栄を意味する鯨の卵
- ⑲ 歌舞伎の世界をこう呼ぶ
- ⑳ 風揚げや羽根つきは○○での遊び

ヨコのカギ

- ① 鯨の呼吸
- ④ 「○○○がつく」とは大体の見通しが立つこと
- ⑦ 緊張すると手のひらや脇にかく
- ⑧ 正月の子ども向け特別ボーナス
- ⑨ この計は元旦にあり
- ⑪ 毎月一定額を返済する○○払い
- ⑫ 菊の花
- ⑭ 店にある売り物
- ⑯ 三十一文字で作られる日本独特の短詩
- ⑰ 割・分・厘・○○・糸…
- ⑲ ○○○物には福がある
- ㉑ 若い女性が着る袂の長い着物
- ㉒ 優秀なハンターは狙ったら逃さない
- ㉔ ペンより弱いと言われる武器

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の家族物語



【菅原さんご一家】 菅原史大さん(36歳)、未来さん(33歳)、亮仁くん(13歳)

※史大さんの父・雄作さん、母・典子さんと共に。

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、羅臼漁協の菅原さんご一家です。

青年部長・地区会長として忙しい日々

定置網漁に従事し、初夏には時鮭、秋口からは秋鮭、いかを獲っている史大さん。祖父の代から漁師で、現在8名で乗っている船では機関士を務めています。秋鮭の時期には朝7時ごろのセリにあわせて出漁するため、夜10時頃に家を出るそうです。「漁師歴4、50年の人たちにはまだまだ及ばないけど、自分の予想が上手くハマって魚が取れた時は嬉しいね」と仕事のやりがいを教えてくれました。

史大さんは組合の青年部長、地区漁青連の会長に就任しており、日頃の漁に加え、組合の各種委員会や地区・全道青年部の会議、視察研修などスケジュールはぎっしり。昨年は定置青年会の視察研修でアメリカへ行き、アラスカで鮭のふ化場を見学するなど貴重な体験をしました。

船上活締めぶりのブランド化を目指して

未来さんは札幌出身。羅臼の魅力を尋ねると「春

は桜がすごくきれいなんですよ。庭で子ぎつねが遊んだり、鹿や熊が歩いていたり。もちろん海産物もおいしいです」と絶賛してくれました。

中学校1年生の亮仁くんはバスケットボール部に所属しています。オムレツが得意な料理男子で、優しいムードメーカーだそう。史大さんと共通の趣味である車の話題で盛り上がることも多く、未来さんが「寂しく感じることもあるくらい」と笑います。

史大さんに今年の目標を尋ねてみると、「自分の商売のことだけではなく、組合について勉強してスキルアップをしていきたいね」と話してくれました。昨年の秋からは船上活締めぶりのブランド化にも取り掛かっており、今年も忙しい1年となりそうです。



間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

「わが村は美しくー北海道」運動 第7回コンクール大賞発表 落石地区マリンビジョン協議会が大賞を受賞しました

03

北海道開発局が主催する「わが村は美しくー北海道」運動 第7回コンクールでは、農林水産業の生産活動によってもたらされる「景観」や「特産物」、「人の交流」等を調和させ、地域を活性化させている団体を表彰しています。今回は、先に発表された優秀賞14団体のなかから「大賞（3団体）」を決める審査が行われ、「落石地区マリンビジョン協議会」がその名誉に輝きました。

11月30日（月）に札幌市内で行われた表彰式では、同協議会を代表して落石漁協 浄土専務が活動を報告。落石の自然を徒歩で感じられるフットパスの整備、ネイチャークルーズの実施やその乗船料の一部を野鳥保護団体へ寄付する活動、また、落石産水産物の共通ブランド「しお風」の展開など、幅広い活動内容を紹介しました。今回の大賞に選ばれた理由のひとつが「長期的展望に立ち、地元のみならず多くの人に発信している」こと。その選考理由にも納得の内容に、参加者は熱心に聞き入っていました。



表彰状を受け取る落石漁協 浄土専務（左）



「しお風」は、落石の活き秋鮭やさんまなどに共通して付けられているブランドです

渡島管内漁協が新幹線延伸工事の関係機関へ申し入れを行いました 海洋環境調査の実現に向け要請を実施

04

12月16日（水）、北海道新幹線延伸工事の事業主体である鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局ら関係機関に対して、工事により発生する湧水が海に流出し、漁業被害が発生しないよう、定期的な海洋調査の実現に向けた要請活動を渡島地区漁業環境保全対策協議会ら関係漁協や自治体、漁業団体などにより行いました。

北海道新幹線札幌延伸工事については、本年度より本格的に開始されており、八雲地区では2つの大きなトンネル工事が計画されています。工事により発生した湧水が大量に噴火湾内に長期間流出したり、工事終了後も流出が続くこととなれば養殖ホタテ等主要漁業に大きな影響を与えかねないことから、今回の要請となりました。

鉄道・運輸機構からは調査実施に向けて検討していくとの回答があり、今後具体的な調査の方法について協議していく予定です。



鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局長谷川局長（右）に要請書を渡す山崎会長（左）

クリスマスに美味しい道産水産物を 札幌市の児童福祉関連施設に水産物の寄贈を行いました

01

12月10日（木）札幌市子ども未来局において、札幌市内の児童福祉関連施設15か所へ道産水産物の寄贈が行われました。秋鮭切身やいくら醤油漬、ほたての貝柱、昆布巻など100万円相当の水産物の目録がぎょれんの崎出常務から札幌市子ども未来局局长へ贈られ、村山局長からは「毎年ありがとうございます。子どもたちにとっては魚の骨を取るのも良い勉強になります」との謝辞を頂きました。

平成5年からクリスマスの時期に行われているこの寄贈は今年で23回目を迎えます。昨年、この寄贈をきっかけに始まった札幌市内の保育園での食育教室も今年で2年目。地産地消を共同で推し進める絶好の場となっています。



それぞれ目録と感謝状を手にする札幌市子ども未来局の村山局長（右）と、ぎょれん崎出常務（左）

北海道漁協専務参事会研修会が開催されました プロ野球のコーチとして実践している、選手のやる気を引き出す指導法を講演

02

11月20日（金）、ホテルポールスター札幌で、「平成27年度 北海道漁協専務参事会研修会」が行われ、全道の漁協参事・専務をはじめ関係者100名が出席しました。今回講師として登場いただいた白井一幸氏は、北海道日本ハムファイターズの現役内野守備走塁コーチ兼作戦担当。ヒルマン監督時の日本一に貢献したコーチであり、白井氏の唱えるメンタルコーチングは栗山監督の信頼を得て、若手の台頭に大きな実績を見せています。自身の経験から、意識の共有こそが強さの源として、ニューヨークヤンキースを例にあげ、ヤンキースでは選手はもちろん、グラウンドキーパーまでも世界一を目指しているからと解説。怒らない・怒鳴らない。選手のミスを責めず、選手の気持ちによりそい、選手のやる気を引き出す指導法を、現場の具体例を引き合いに出し、選手の実名を交えながら熱弁をふるいました。「指導者としての成功は選手の成功」と締めくくった講演に、出席者一同大きな拍手で応えました。



全道から多数の漁協専務・参事の皆さんが参加されました



やる気を引き出す人材育成法について講演した白井一幸氏



本道漁業が直面する諸課題の解決に向けての「漁政活動」、漁協・漁業経営の改善や教育啓発活動などの「指導教育」、未来の海を見つめる「環境対策」など、北海道漁業の縁の下の力持ち、指導事業。

このコーナーでは、指導事業が取り組む、皆さんに身近な疑問について答えます。

北海道漁業環境保全対策本部(環境本部)はどんな組織ですか？

漁業者自らが漁業環境を保全していくことを目的に、環境対策を行うために設立された組織です



全道の漁場環境を守るのが使命

北海道漁業環境保全対策本部(環境本部)は、昭和38年に漁業者や漁業関係団体の総意により設立されました。全道の漁場環境を守るため、海や川、湖沼における環境保全対策を行いながら、水を中心とした調査分析や教育、情報活動をしています。分析については、研究室を保有し、職員自らが分析をしています。

〈主な業務内容〉

①工事濁水・工場排水の対策

- ・海や川に工事時の泥・濁水が流れ出して漁業に被害を及ぼすことが無いよう、工事の計画段階から話し合い、現場を視察して、未然防止に取り組んでいます。
- ・工場の排水についても、定期的に現場の点検や排水の水質調査をしています。

②酪農・畜産系排水に対する対策

家畜排泄物(ふん尿など)が川などに流れ出す事故が、全道各地で発生しているため、行政や農業団体と話し合い、漁業に影響が無いように取り組んでいます。

③流木・漂着物に対する対策

流木による漁業被害が発生しているため、流木を含めた漂着物の対策、発生の抑制について、支援を行っています。

④その他の対策

漁業系の廃棄物、海洋環境、油濁事故、森林環境の保全に対する問題にも取り組んでいます。

昭和38年	北海道水産用水汚濁防止対策連合会設立
昭和46年	北海道漁業団体公害対策本部(公対本部)に改組 同年に研究室を開設
昭和54年	公対本部の事務局を指導連に移管
平成16年	指導連とぎょれんが統合 北海道漁業環境保全対策本部(環境本部)に名称変更
平成26年	ぎょれん環境部と環境本部研究室が ぎょれんビルに移転



研究室では、北海道の川や湖沼の水を中心とした分析を行っています



環境本部の職員が現場で採水調査を実施します(網走湖での調査)

はばたけ 地域ブランド 水産物

様々な水産物が漁獲される北海道では、ブランド水産物として販売促進に取り組んでいるものが多いです。

このコーナーではブランド水産物の中でも特に、地域や団体などが連携して知名度やブランド力の向上に取り組んでいる水産物をご紹介します。

今月のブランド水産物 『ほっき』

北海道南部の日本海側を除いた、道内のほぼ全域で水揚げされており、貴重な資源を守るため、年間を通じて計画的に出荷されています。その身はタウリンやカルシウム、鉄分などミネラルたっぷり。刺身や寿司、バター焼き、カレーライスと様々な料理でおいしく頂けます。



胆振太平洋ホッキ貝振興協議会が宣伝に取り組んでいます

胆振太平洋ホッキ貝振興協議会は、鶴川、苫小牧、いぶり中央、室蘭の4漁協とぎょれん室蘭支店、鶴川町、厚真町、苫小牧市、白老市、登別市、室蘭市の6市町で構成される協議会です。平成13年に設立され、胆振地区のほっきの消費を拡大するための活動に取り組んでいます。

1. 食べ方を知ってもらう

毎年、道内各地で行われているコープさっぽろ「食べる・たいせつフェスティバル」に出展している同協議会。フェスティバルは、生産者やメーカー、食にかかわる団体が参加し、地元消費者と交流するイベントです。協議会はほっきの剥き方講習会を開催し、多くの来場者に地元特産のほっきが手軽な食材であることを広めています。

また、昨年から食育の一環として漁協女性部が地元大谷室蘭高校で出前授業を行っています。ほっきなど地元で水揚げされた貝の剥き方や魚のさばき方、調理方法を女性部が講師となり、直接生徒に手ほどきします。中には初めてほっきを触る生徒もありますが、女性部が丁寧にさばき方を指導しています。最後には自分たちで調理したほっきのフライや刺身などを試食し、地元で獲れる食材のおいしさを体感してもらいます。授業は生徒たちから大好評。今年も同校で出前授業を行う予定となっています。

2. 実際に食べてもらう

協議会では、平成21年から室蘭市で開催されている「室蘭さかなの港町同窓会」でほっきの即売を行っています。毎年10月に漁協や市場関係者、地元商店が一堂に会し、地元の旬の味覚を提供するこのイベントには、近隣の町からも多くの人達が会場を訪れます。地元で獲れたほっきの美味しさを来場者に知ってもらうため協議会が特別価格で提供していることもあり、開店と同時にほっきを求める人の列ができ、毎回用意したほっきは短時間で完売となります。中には一人で3kgものほっきを購入する人もいますなど、好評企画となっています。



簡単に下処理できるほっきの魅力を広く知ってもらいます(食べる・たいせつフェスティバル)



初めてのほっき剥きに悪戦苦闘する生徒たち(大谷室蘭高校での出前授業)



毎年好評のほっきの即売会(室蘭さかなの港町同窓会)

編集部からのお知らせ

皆様からの便利、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿（お便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん1月号への感想・ご意見など
- ②11ページのクロスワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉1月20日までにお送りください。

（郵便）〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 営業企画部 広報担当
（FAX）011(271)0843
（電子メール）info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違いさがしの答え



取材や個人的に道内外、様々な所へ行くことが出来た昨年の漢字は「旅」でした。今年も申のようにフットワーク軽く、たくさんの方の取材できる年になりたいと思います。今年もよろしく願っています。

（矢幡）

今年の干支は申。申という漢字には「伸びる」という意味があり、「これまでの頑張り」が形になっていく」という意味もあるそうです。また「ざる年」は、勝（まさる）、魔（ま）が去る、病（やま）が去る、など災いが去り、幸せがやってくる年になるという説もあるとか。大いに期待して一年を過ごしましょう。

（阿部）

沖が屈げて魚介が食卓にのっています。あわびを甘塩で塩辛にして頂きました。うまいですね。いか、たこ、えびの刺身にここに生のりを入れた汁、小ささは、大羽いわしの焼き魚です。豊かな海に感謝、感謝です。

（島牧村 泉谷泰三さん 88歳）

テストも終わって、開放感でいっぱい！父はさんま漁が終わり、来年の鮭鱒の網支度をはじめている様子。いっぱい獲れるといいな♡

（厚岸町 K.Sさん 17歳）



おたよりコーナーが充実していますね。たくさんのおたより読むのが楽しみです。申年の新年ももうすぐですね。良い年になることを祈っています。

（島牧村 高島里子さん 65歳）

鮭漁も終わり、12月から岡つづ漁が始まりました。寒い中、朝早く漁に出ていく夫に感謝しています。ありがとうございます♡お酒の飲みすぎは注意です（笑）

（えりも町 齊藤円さん 47歳）

今年は燃料が安いので、光熱費が安いです。ありがとうございます。

（豊浦町 竹島美子さん 67歳）

今年も、あともう少しで終わりですね！来年もいい年でありまうように願っています。

（別海町 福原美代子さん 47歳）

毎月なみまるくん楽しみにしております。久しぶりにバズルをやりました。漁の方も終わり、ホッと一息です。

（枝幸町 井本康子さん）

〈編集部から〉新鮮ないかは透き通っていて本当に美しいですよ。今年はいかも豊漁でありますように！！



タイトル：底建網終盤
まだあきらめていません。
まだまだ泳いでこい〜
（興部町 坂本 翔さん）

浜のおかあさんレシピの鮭のコロケおいしそうです。これから作って、お弁当夕食のおかずに大活躍しそうです。

（湧別町 白井ミセ子さん 71歳）

今年も健康に気を付けて仕事に頑張つてくれたこと感謝です。来年も良い年になりますように願っています。

（浦河町 若林秀章さん 47歳）

編集後記

あけましておめでとうござい

昨年は、社会の枠組み、気象など「変化」を強く感じた年でした。特に、台風や低気圧は体調に影響し、自分なりに苦心した結果「規則正しい生活」、「バランスのよい食事」という「まったく当たり前の」事が良いと今更ながら再発見。今年はいよいよ実感をこめて、魚食普及を通じたバランスの良い食生活を提案し、皆さまと共に健やかな一年にしたいと願っています。

（工藤）

しっかり見張り がっちり着用 ライフジャケット

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

news 漁のほつとニュース

大漁祈願！

小樽

11月下旬、石狩湾沿岸のはたはたが一部地区で日産20tを超える水揚げを記録しました。近年は水揚げが急減し、沿岸漁業での年間水揚げ数量が10tに満たない年もあっただけに、久しぶりの明るい話題となりました。同時期に後志南部では、ほっけの水揚げが高い浜値を維持しながら続きましたが数量が振るわず、水揚げ金額は前年割れとなっています。このほっけはたはたを使った飯寿司作りも各地で最盛期を迎えており、浜の店先には年の瀬にお馴染みの冬の味覚が並んでいます。

室蘭

胆振管内では、秋鮭定置網漁が12月10日に水揚げ数量約6,100t、昨年度対比110%と好漁で終漁となりました。助宗刺網漁は12月14日現在、累計水揚げ数量約10,300t（昨年対比90%）となっています。11月までの水揚げが振るわなかったものの、12月に入りまとまった水揚げが続いており、今後の漁にも期待がかかります。生産者の皆さんの安全操業と豊漁を祈念しています。

根室

当管内でのほたて貝の水揚げが本格的に始まりました。標津漁協に次いで、野付漁協でも12月1日より操業が始まり、先に水揚げの始まった羅臼潜水物を含めて管内日産200～250t程の水揚げとなっており、海外市場でのほたて需要の高まりも収まることなく、価格も高値で推移しています。寒さも厳しくなってきましたが、関係者におかれましては今後の安全と順調な水揚げを祈念しています。

留萌

当管内では、11月中旬から始まったほたて半成貝の出荷が12月上旬に最盛期を迎え、12月16日現在、出荷終了した地区も出てきました。時化による本分散の遅れなどありましたが、今年も無事にひと段落を迎えることが出来そうな状況に浜からも安堵の声が上がっています。12月中旬からは各地で真かじかが大漁となり、まさに冬本番となってきました。今年も残すところあと僅かとなりましたが、安全操業で今年を無事に締め切り、来年も大漁となることを祈念しています。

函館

冬の味覚の一つである真だら。管内では真だらが旬の季節を迎えています。今年は魚体が大きく、水揚げ・価格も昨年を上回っています。真だらの料理はたくさんありますが、一番のおすすめはたら鍋です。真だらのクセがなく引き締まった身と、栄養たっぷりの白子は最高で、地元の人は年越しにはたら鍋がなくてはならない料理です。最近では観光客にも人気となっています。

釧路

釧路における直近1ヶ月間の平均気温は2.8℃と平年に比べ1.5℃高く、また、降水量は平年の3倍近い数値となっています。この事が要因であるかは分かりませんが、沖底船によるするめいかの水揚げが12月以降も続いています。一方、沿岸漁業では、ばばがれいやたらに加え、ほっきやたこ、毛がに等、冬の主役達の水揚げが例年通り本格化してまいりました。今後、厳しい寒さが続きますが、引き続き安全操業と大漁を祈っています。

稚内

オホーツク海地区では、3月の漁場造成から約10カ月間水揚げが続いてきたほたて漁が、ついに終漁となりました。日本海地区では、かれい・たららの刺し網漁が先月より行われていますが、12月に入り時化が多く続き水揚げが出来ない日々が続いています。荒れやすい冬の海ではありますが、新しい年に向けて安全操業で豊漁となることを願っています。

梶山

管内で漁獲される冬の味覚に助宗だらがあります。ひやま地区では釣り助宗だら漁が最盛期を迎えています。今年は操業隻数が半減したことで、1隻あたりの水揚げは増加しています。助宗だらの食方で一番のおすすめは三平汁。ひやまの釣り助宗だらは鮮度抜群なので、引き締まった身と脂がたっぷりの肝、濃厚な白子が存分に味わえます。

日高

12月5日より日高東部地区で毛がに籠漁が解禁となりました。12月14日現在、水揚げ累計26tと昨年並みの水揚げとなっていますが、浜値は、昨年対比でk@1,000程高値で推移しています。また、この時期、管内全域でばばがれい漁が盛んに行われていますが、今年はいくつ日には管内で10t以上の水揚げにもなり、漁模様は好調です。時化が多くなり、思うように操業できない日々が続いていますが、戻ることに安全操業を願っています。

北見

新年、明けましておめでとうございます。ほたて漁や底建漁も終漁し、冬本番を迎えています。一方サロマ湖内のかき漁は旬の時期を迎え順調な水揚げとなっております。これからの季節鍋料理を中心として需要が高まる中、水揚げ量・浜値ともに昨年を上回することを期待しています。本年も安全操業と大漁を心より祈願しています。

ご飯がすすんで止まらない! ボリュームたっぷり簡単丼

ほたて丼

浜のおかあさん

レシピ



今回は「ほたて丼」をご紹介します。うま味たっぷりのほたてにあわせるたれは、隠し味のオイスターソースが決め手。白髪ねぎが、シャキシャキの食感と後味のさっぱり感を添え、ほたての魅力を引き立てます。

材料 (4人分)

・ほたて…20個	④	{	・バター…10g
・塩こしょう…少々			・油…大さじ1
・小麦粉…大さじ5	タレ	{	・みりん…大さじ3
・バター…10g			・しょうゆ…大さじ2
・長ねぎ…1本			・オイスターソース
・しいたけ…6個			…大さじ1
・ご飯(かために炊く)			・砂糖…小さじ1
…2合半			

作り方

- ① ほたては2枚に開き、軽く塩こしょうして10分置く。キッチンペーパーで押さえ水気を切り、小麦粉をまぶす。
- ② 長ねぎは5センチ程度の間隔に切り、白髪ねぎを作る (緑の部分は別によけておく)。しいたけは石づきを取り、縦4つに切っておく。
- ③ フライパンにAを入れ、ほたてを焼く。焼き色が付いたら一旦取り出しておく。
- ④ ③のフライパンにバターを加え、しいたけを炒める。火が通ったら③のほたてを戻してタレを加え、沸騰させ照りが出るまで加熱する。
- ⑤ よそったご飯の上に②の白髪ねぎを散らして④を乗せる。②でよけておいた緑の部分を飾って出来上がり。



網走漁協

白井 晴美さん